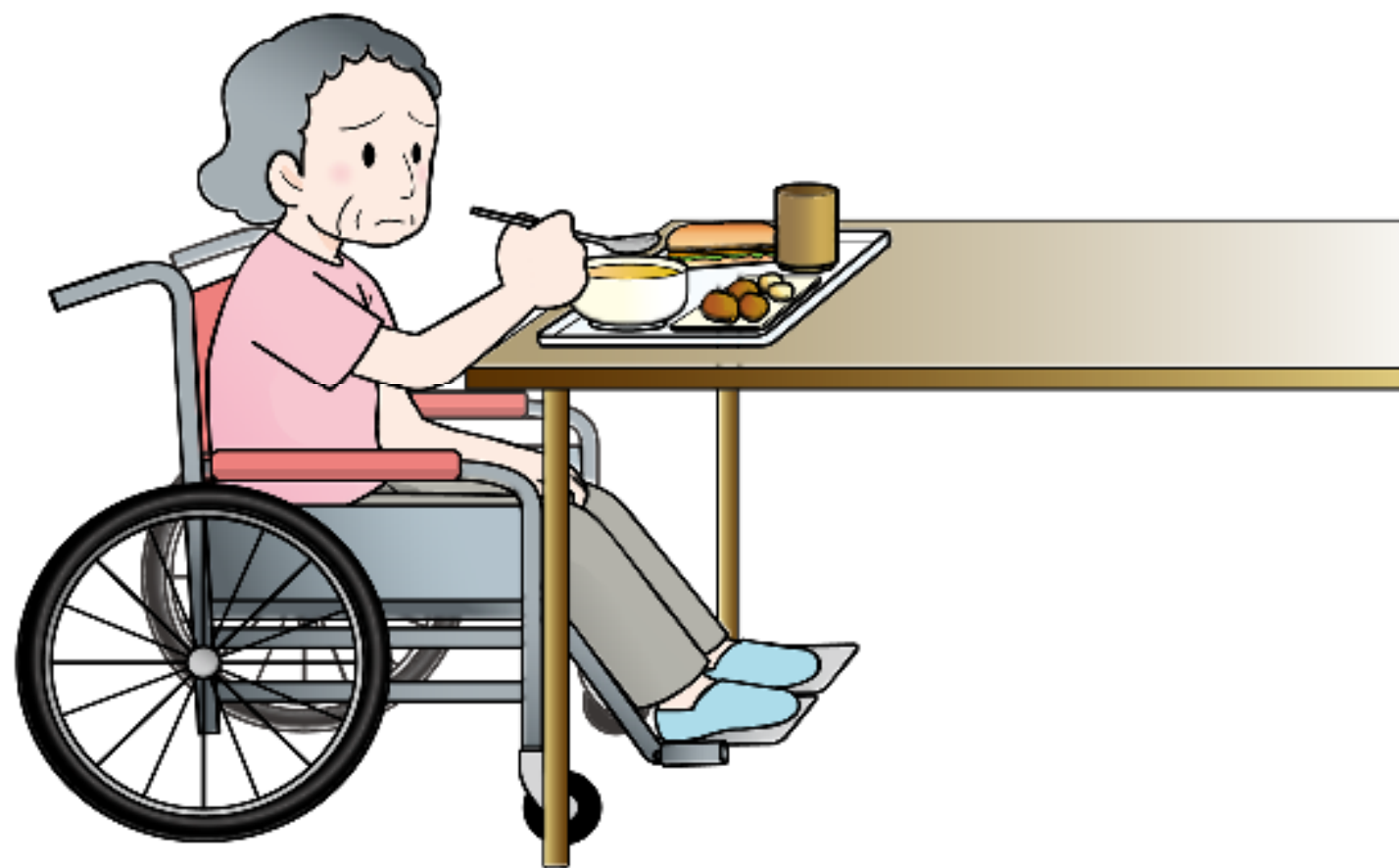


気づきのシート① 食事中

次のイラストから、どんなことに気づきますか？

課題となる状況、状態を、
複数の視点（例えば環境・心理・ADL）から見つけて、
それぞれの課題への対応を考えましょう。



解答例

- 車椅子のまま食事をしている
→車椅子は移動のための道具、シートもフラットではないため椅子に移ることが望ましい。
- 車椅子のフットサポートに両下肢が乗っている
→前傾姿勢(摂食動作)になる際、倒れる可能性があるため、車椅子上での活動時はフットサポートから下肢を下ろす。
- テーブルが高い
→食事を目視しにくい、上肢の操作が阻害されるため、テーブルの高さは肘を90°に屈曲できる。テーブル上の上肢が自由に動かせる。椅座位時のテーブル面の高さが臍程度になるものを準備する。

教材作成

特定非営利活動法人 まちあす 代表理事

(株)未来企画 介護事業部長

前東北保健医療専門学校 介護福祉科 学科長

軍司 大輔